



実践女子大とクレディセゾンとの合同授業

実践女子大がクレディセゾンと合同で「企業とは」の授業

1月19日、実践女子大学（本部・東京都日野市。城島栄一郎学長）の渋谷キャンパスで、クレディセゾン（本社・豊島区。林野 宏社長）と、「企業理念と仕事、そして働くということ」をテーマにした合同授業を実施。共通教育科目「グローバルキャリアデザイン」（担当・深澤晶久特任教授）の授業の一環で、同社社員16名と本学文学部・人間社会学部3年生40名が参加。

学生は数人のグループに分かれ、段ボールなどを駆使したプレゼンチーバベリー「1st Anniversary」が、千葉市のホテルスプリングス幕張で開催。「チーバベリー」は県農林総合研究センターが独自開発した新品種（千葉S4号）で、8年の歳月をかけ2017年1月に販売。「どちおとめ」よりも大きく、果汁豊富で甘みとい酸味を併せ持ち、形も円錐形で鮮やかな赤色が特長。さらに大敵「うどんこ病」にも強く多収で、春先の3月以降も

実践女子大がクレディセゾンと合同で「企業とは」の授業

1月19日、実践女子大学（本部・東京都日野市。城島栄一郎学長）の渋谷キャンパスで、クレディセゾン（本社・豊島区。林野 宏社長）と、「企業理念と仕事、そして働くということ」をテーマにした合同授業を実施。共通教育科目「グローバルキャリアデザイン」（担当・深澤晶久特任教授）の授業の一環で、同社社員16名と本学文学部・人間社会学部3年生40名が参加。

千葉の独自イチゴ新品種チーバベリー」1周年式典

1月15日、「ひば・いちご」キック・オフ・パー^{テイ}ー2018～

こと」のテーマで学生達と対話、グループ内での対話を通して、経営理念や事業の社会的価値、具体的な仕事内容、働く目的や意義について熱く語った。

特 産 品

チーバベリー」1周年式典

1月15日、「ひば・いちご」キック・オフ・パー^{テイ}ー2018～

安定収穫できる。

式典に駆けつけた森田健作県知事も、「千葉のイチゴは美味しい。タイの観光客も『イチゴ狩りは物凄い、素晴らしい』と絶賛しています」と熱くアピールした。



「チーバベリー」式典。中央は森田知事

人 材 育 成

長崎ウエスレヤン大が雲仙温泉郷観光プランコンテスト

長崎ウエスレヤン大学（本部・長崎県諫早市。佐藤快信学長）は1月26日、「雲仙温泉 東園」を舞台に「長崎発 観光地域づくり人材育成講座」の集大成として、受講者による「海に浮かぶ火の山の大地



「観光地域づくり人材育成講座」の講義風景

ト」を開催。2013年から開始した文科省委託事業「長崎発観光地域づくり人材育成プロジェクト」の一環で、地元の旅館・ホテル、観光教育、自治体、NPO関係者などが受講。

地元の観光地域プロジェクト「雲仙温泉100」と合同企画となつた同コンテストでは、①地元住民が好きな場所を案内する「暮らしと人々」シエルジユ」②食材の宝庫を生かした収穫ビザづくり体験③旅館のスナックを再活用した夜のエンタメ「マッチョ・バー」の3つがノミネート。メディア関係者などによる厳正なる審査の結果、最優秀賞として、奇抜さに優れた③が選ばれた。